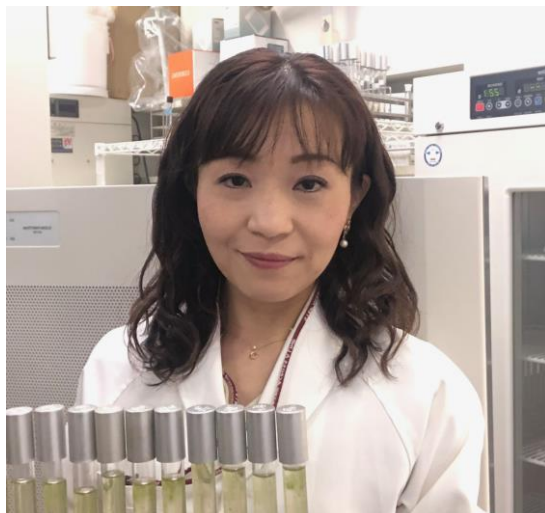


# クロレラと共生するミドリゾウリムシの有用性について

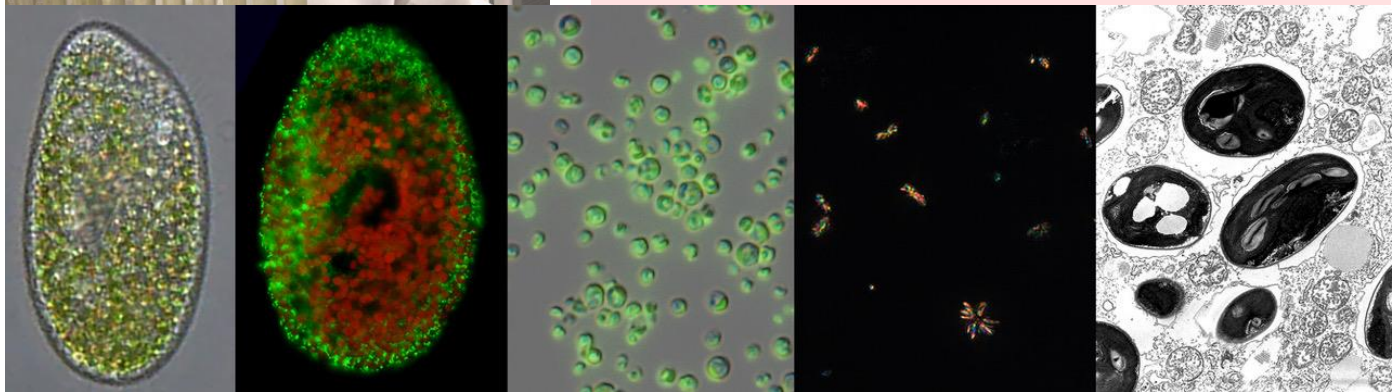
クロレラはタンパク質含量が多くデンプンやオイルを蓄積することもでき、古くから有用生物資源として利用されています。一方でゾウリムシは基礎生物学の発展に大きく貢献してきました。それらが合わさった生物が「ミドリゾウリムシ」です。ミドリゾウリムシは水の浄化、バイオ燃料、サプリメント、学校教材、人畜共通感染症予防など各種分野での利用が可能な特徴を持っていますが、まだ知名度が低くあまり知られていません。本ミーティングではミドリゾウリムシの持つ可能性やSDGsへの取り組みなどについてご紹介します。



島根大学 生物資源科学部  
情報提供 児玉 有紀 教授

## 研究シーズのPRポイント

ミドリムシと間違われがちなミドリゾウリムシですが、新たな生物資源としての大きな可能性を秘めています。ミドリゾウリムシを使って20年研究をしているので、性質や培養法等について熟知しています！



技術コミュニティラボとは？

研究者と参加者が未来の技術や研究について自由な雰囲気意見交換をすることにより交流を深める少人数・対話型の情報交換会です。

**日時** 2023年3月28日(火)13:30-15:30 (発表1時間、参加者自己紹介・意見交換1時間)

**会場** 島根大学地域未来協創本部 2階会議室 (松江市北陵町2 ソフトビジネスパークしまね)  
<https://goo.gl/maps/HS4gLmPrDuvQBvfy5> ※駐車場有り

**対象** 企業、自治体、研究機関、学生、支援機関 (20名前後)

**お申込** 下記webフォームにてお申込み下さい。  
<https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/lab20230328>  
2023年3月23日(木)までにお申込み下さい。

